び基礎的技能を修得し、それらを活用して現代の経済社会を多面的に理解し、家庭・企業・地域等で活躍する能力を身につけている人[論文試験、面接試験(研究計画書を含む)]

4.本研究科で学修することによって、官公庁や企業において経済・経営・情報分野の指導者、海外で活躍する国際公務員や公共団体・民間団体の国際交流担当職員、地域の活性化に貢献する地域社会の指導者、税理士や公認会計士、経済学・経営学・会計学・情報科学等の分野の研究者を目指す人[論文試験、面接試験(研究計画書を含む)]

[　] 内は対応する入学者選抜における評価を示します。

詳細はウェブサイトをご覧ください。

● 入学者選抜における評価項目

○論文試験
○面接試験(研究計画書を含む)

識と研究方法を修得し、周辺領域の考え方や理論と関連付けながら、それらを活用することができる。[一般における専門科目試験][社会人および外国人留学生の小論文]
(思考力・判断力・表現力)

2.自らの力でテキストの精読や実地調査を行い、論点を定めた分析や表現の探究に計画的に取り組むことができる。[一般における面接試験(学修調書、卒業論文要旨等を含む)][社会人および外国人留学生における小論文試験、面接試験(学修調書、卒業論文要旨等を含む)]
(主体性)

3.豊かな人間性と幅広い視野を持ち、高度な言語運用能力を発揮して他者と議論や対話を行うことができる。[一般における面接試験(学修調書、卒業論文要旨等を含む)][社会人および外国人留学生における小論文試験、面接試験(学修調書、卒業論文要旨等を含む)・日本留学試験[日本語]]

[　] 内は対応する入学者選抜における評価を示します。

詳細はウェブサイトをご覧ください。

● 入学者選抜における評価項目

出願区分:一般
○専門科目試験
○面接試験(学修調書、卒業論文要旨等を含む)

出願区分:社会人および外国人留学生
○小論文試験
○面接試験(学修調書、卒業論文要旨等を含む)

詳細はウェブサイトをご覧ください。

● 入学者選抜における評価項目

3.研究成果を社会に向けて継続的に発信し、他者との関わりの中で自らの表現力や創造性を高めることができる。[面接試験(研究計画書を含む)、日本留学試験[日本語]]

[　] 内は対応する入学者選抜における評価を示します。

○提出作品　○実技試験
○小論文試験　○面接試験

詳細はウェブサイトをご覧ください。

尾道市立大学大学院

21世紀と共に歩む尾道市立大学は、時代の要請に対応し、高度な専門的知識・能力、
それに裏付けられた創造性・判断力、高い見識などの育成に特化した、
実践的な教育を行う大学院修士課程を設置しています。
本学修士課程では、学士課程教育で培われた専門的素養をもとに、
変わりゆく時代と地域社会の姿に応じた、より高次の学修と研究に取り組むことができます。

入学検定料・授業料

入学検定料	30,000 円
入学料　尾道市内在住者	282,000 円
上記以外	423,000 円
授業料(年額)	535,800 円

＊「尾道市内在住者」とは本人又はその配偶者若しくは1親等の親族が尾道市内に、入学月の初日の1年以上前から引き続き住民登録をしている者です。

＊外国人留学生は2分の1の額(入学料は「上記以外」の2分の1)です。

＊本学学部生(卒業生を含む)が入学する場合の入学検討時付金については、上記入学料から282,000円を控除した額とします。

＊経済情報研究科と日本文学研究科ではノート型パソコンが必携となります。

JR山陽本線「尾道駅」南口3番のりばから「尾道市立大学」または「陽光台」行きバスで約20～40分、「尾道市立大学」下車。
JR山陽新幹線「新尾道駅」南口3番のりばから「尾道市立大学」行きバスで約15分、「尾道市立大学」下車。
JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシー利用で約10分。
お車でお越しの場合、平原IC経由が便利です。

公式ホームページ　youtube　X　instagram

公立大学法人
尾道市立大学
〒722-8506広島県尾道市久山田町1600番地2
TEL 0848-22-8311(代)

尾道市立大学大学院 2026

Onomichi City University Graduate Program

Economics, Management & Information Science
Japanese Literature
Art & Design

□教育課程の特色

経済情報研究科

● 教育理念・目的

経済情報研究科は、大きく分けて経済学・経営学・情報科学の3つの研究分野を持ち、学部教育を踏まえ、より高度な研究と教育を行うとともに国際的な視野のもと、経済学・経営学・情報科学の新しい発展並びに地域経済の要望を踏まえた教育と研究に取り組んでいます。更に、国際社会への貢献並びに教育・文化の国際交流の一層の促進のために優秀な留学生の受け入れを積極的に行います。

このような教育理念のもと経済情報研究科は、経済学・経営学・会計学・税務ほかの諸領域において活躍できる専門的職業人及び研究者、高度な情報科学の修得に基づき経済学・経営学・会計学・税務ほかの諸領域において活躍できる情報分野の専門的職業人及び研究者を養成することを目的としています。

● 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

経済情報研究科は、ディプロマ・ポリシーならびにカリキュラム・ポリシーにおいて具体化された教育理念・教育目標に基づき、以下のような人を求めています。

1.学士課程教育において、専門的知識・技能と、日本語および外国語によるコミュニケーション能力とを高めることで、日本や世界の諸問題の解決に寄与する能力を身につけている人[論文試験、面接試験(研究計画書を含む)、日本留学試験[日本語]]

2.学士課程教育において、経済・経営・情報の3分野に関する専門的知見を、人間・社会・自然に関する他分野の学問的知見と組み合わせることで、高度に情報化した現代経済社会の意味を探究する能力を身につけている人[論文試験、面接試験(研究計画書を含む)]

3.学士課程教育において、経済・経営・情報の3分野に関する専門的知識およ

日本文学研究科

● 教育理念・目的

日本文学研究科では、日本の文学と言語文化を総合的に捉えつつ、日本文学・日本語学・漢文学の発展的研究に取り組むことで、日本語、日本文学、日本の芸術文化を深く理解します。このような教育理念のもと、社会活動や文化活動において指導的役割を果たし、社会の発展に寄与する人材を養成することを目的としています。

● 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

日本文学研究科の教育の理念・目的に基づいた、ディプロマ・ポリシーを満たし、そのためのカリキュラムに適応できる能力・適性をもった人として、日本文学研究科は以下のような人を求めています。

1.大学の学士課程等において日本文学・日本語学・漢文学に関する基礎的な知識と研究方法を修得している人

2.自分自身の研究テーマをもち、それを自らの力で探究していこうという意志のある人

3.本研究科での高度な学びを通じて、社会や文化の進展に貢献していこうという意志のある人

入学後の学びに必要な能力や適性等

日本文学研究科の教育課程に適応するために必要な入学時の能力や適性等は以下のとおりです。

(知識・技能)

1.日本語学、日本文学(古典文学、近現代文学)、漢文学に関する基本的な知

美術研究科

● 教育理念・目的

美術研究科の教育理念は、個々人の資質を尊重し、それぞれの学生が表現者としての立脚点と方向性を模索しながら、研究科教員と学生とのコミュニケーションを軸に、自己表現へ向けた研究を展開させていくことです。このような教育理念のもと、美術における専門家として持続的な創作活動に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材を輩出することを目的としています。

● 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

美術研究科は、研究科の教育理念・目的に基づき、以下のような人を求めています。

1.専門分野の基礎的な知識や技術を修得し、様々な分野の考え方や理論を吸収した上で、それらを展開して自己表現に結びつけることができる。[提出作品、実技試験、小論文]

2.自ら課題を発見し、その解決方法を模索した上で、研究テーマを明確に設定し、表現の可能性を持続的に探究できる。[小論文、面接試験(研究計画書を含む)]

経済情報研究科　経済情報専攻（修士課程）

修了要件

本研究科に2年以上在学し、30単位以上の単位を修得し、修士論文審査および最終試験に合格すること。

学位

修士（経済情報）

取得できる資格

高等学校教諭一種免許状（商業）を既に取得している方で、本研究科で所定の授業科目の単位を修得し、修了要件を満たして修士の学位を授与された方は、高等学校教諭専修免許状（商業）を取得することができます。

長期履修制度

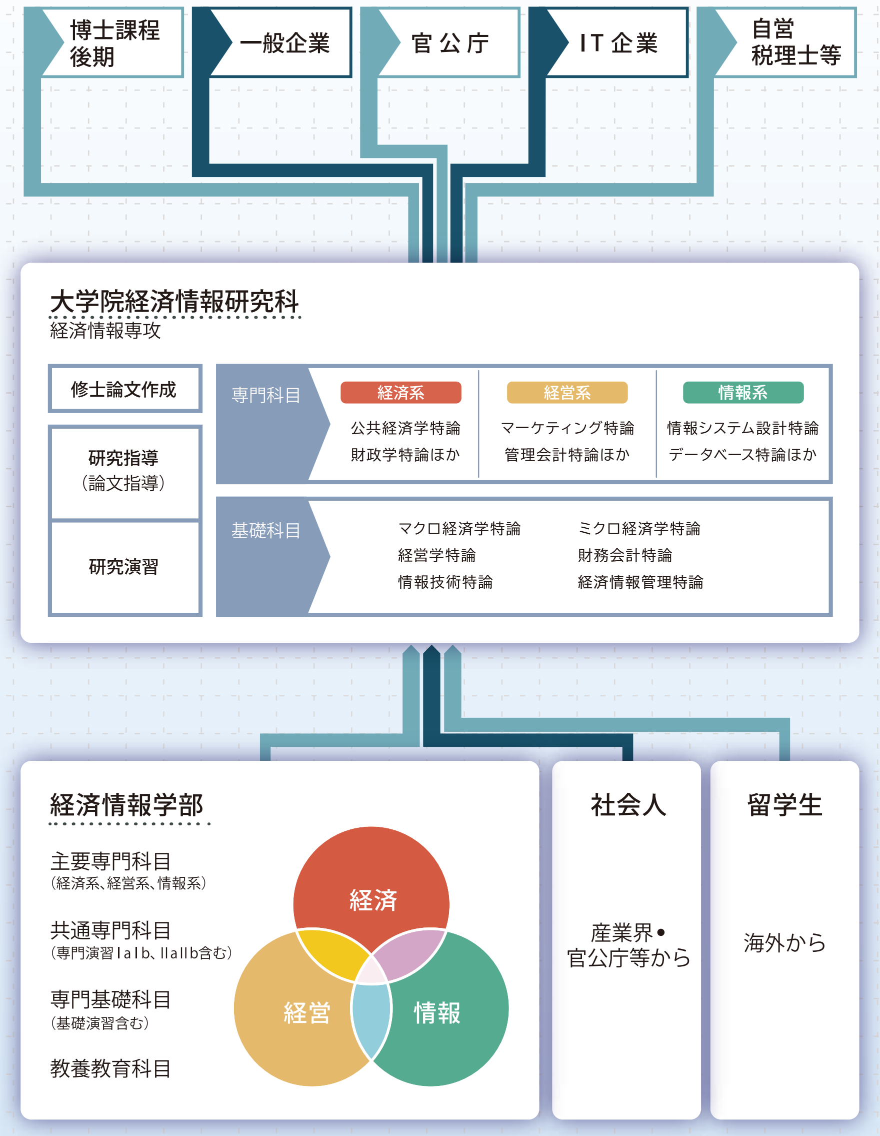
標準修業年限は2年ですが、社会人学生のため、最長4年の長期履修制度があります。

秋入学制度

春入学試験と秋入学試験を分けて実施し、9月入学を可能にしています。

税理士試験について

税理士試験については、一定基準を満たせば「試験科目免除」制度の適用を申請することができます。



教育課程

教育課程編成にあたっては、基礎科目、専門科目、研究演習、研究指導（論文指導）という科目区分を導入し、各々について次の考え方を採っています。

①基礎科目として、経済系のマクロ経済学特論、ミクロ経済学特論、経営系の経営学特論、財務会計特論、情報科学系の情報技術特論、経済情報数学特論を配置しています。基礎を重視した科目配置です。

②専門科目として、経済系、経営系、そして情報科学系の主要科目を配置しています。この中には、地域問題の考察の重要性が増している現状を考慮して、地方財政特論、地域経済論特論が設けられています。また、税理士希望者は、管理会計特論、簿記論特論、税務事例特論などの科目の学修が必要不可欠です。

③研究演習を1年次の必修科目とし、経済系、経営系、情報科学系の3系列について配置しています。文献研究や事例研究を通して、演習形式でより広く、より深く学修するものです。

④研究指導（論文指導）を2年次の必修科目として、経済系、経営系、情報科学系の3系列について配置しています。ここでは大学院生が各自のテーマに沿って研究報告を行い、修士論文作成のための指導を行うものです。

基礎科目

マクロ経済学特論	ミクロ経済学特論	経営学特論
財務会計特論	情報技術特論	経済情報数学特論

専門科目

経済系	計量経済学特論	財政学特論	金融システム特論
	国際経済学特論	経済政策特論	地方財政特論
	地域経済論特論	社会保障特論	経済学史特論
	日本経済史特論	公共経済学特論	
経営系	経営組織論特論	管理会計特論	簿記論特論
	国際経営特論	租税論特論	税務事例特論
	マーケティング特論	企業法特論	
情報系	データベース特論	統計学特論	情報管理特論
	情報システム設計特論	情報ネットワーク特論	大規模情報活用特論

研究演習

研究演習Ⅰ　研究演習Ⅱ

研究指導（論文指導）

研究指導（論文指導）Ⅰ　研究指導（論文指導）Ⅱ

修了必要単位数

1. 基礎科目から3科目6単位
2. 上記1以外の基礎科目を含み専門科目から8科目16単位以上
3. 研究演習Ⅰ・Ⅱ 計4単位、研究指導（論文指導）Ⅰ・Ⅱ 計4単位
4. 合計30単位以上を修得すること。

日本文学研究科　日本文学専攻（修士課程）

修了要件

本研究科に2年以上在学し、合計30単位以上の単位を修得し、修士論文または特定の課題についての研究の成果を提出し、その審査と試験に合格すること。

学位

修士（日本文学）

取得できる資格

中学校教諭一種免許状（国語）または高等学校教諭一種免許状（国語）を既に取得している方で、日本文学研究科で所定の授業科目の単位を修得し、修了要件を満たして修士の学位を授与された方は、中学校教諭専修免許状（国語）、高等学校教諭専修免許状（国語）を取得することができます。

教育課程

教育課程編成にあたっては、総合科目、基幹科目、専門科目、関連科目の区分を設けています。

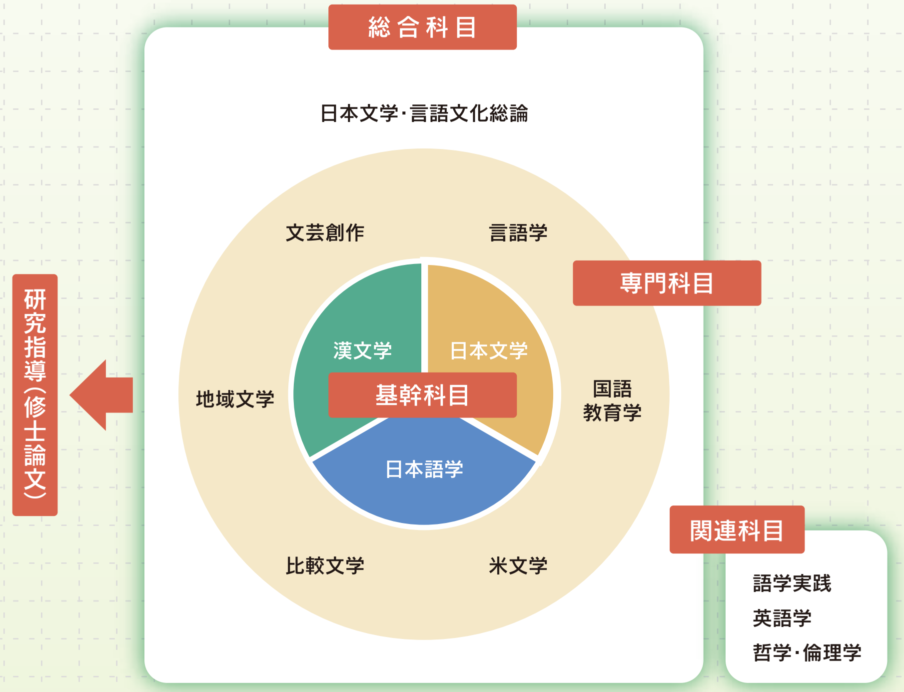
①総合科目
各分野担当者のオムニバスで基幹科目、専門科目、関連科目の枠をこえ、総合的に日本の言語文化を捉える視点を養います。

②基幹科目
基幹分野として日本語学、日本文学（古典・近現代文学）、漢文学をおきます。これに関する深い学識と高度な研究方法を修得する特講と演習が必修で配置されます。

③専門科目
基幹科目分野の周辺領域として、言語学、国語教育学、米文学、比較文学、地域文学、文芸創作分野の特論を配置します。テキストの精読や資料調査をもとにした、論理的思考、言語文化の探究に取り組む科目です。

④関連科目
周辺領域の考え方や理論を関連付け、より広範な社会と連携した普遍的な言語文化の探究と創造に取り組む科目です。語学実践、英語学、哲学・倫理学の特論を配置します。

⑤研究指導（論文指導）
言語文化の探究と創造の成果として、各自の研究テーマにそった研究指導（論文指導）により修士論文を執筆します。



修了生の声

槇原　帝人
（2024年度修了）

●修士論文のテーマは？
私は国語教育学ゼミに所属し、将来教員として国語科の指導をするにあたって国語科を学ぶ価値についてもっと研究したいという考えのもと修士課程を志望しました。私の修士論文のテーマは「中学校における「読むこと」と「書くこと」の関連指導」です。読み教材で獲得した言語技能を自らのものとし、今後の読みに活かすために書く活動と連動させて取り入れることを提案しました。

●修士論文作成で苦労したことは？
修士論文は迷走してしまうと執筆が止まってしまい苦労しました。そんなときは、とにかくヒントになりそうな文献をひたすら読むようにしました。その結果、研究の核心をつく書籍と出会えた経験がありました。

●今後の抱負をお願いします！
今後は中学校の教員として、修士課程で学んだことや研究内容を実践していく立場になります。大学院二年間で培ったことはこれからも自分の中で必ず役に立つと思っています。これからも日々研究をする姿勢を忘れないで努力を続けていきたいです。

修士論文への道のり

1年		2年	
前期	後期	前期	後期
特論及び特講の授業を中心に、日本文学や日本語学の理解を高め、自分の専門分野である国語教育と関連させながら深い学びにできるよう心掛けました。具体的には、近代文学では筆者の表現の仕方に着目して表現の全体に及ぼす効果について考え、指導案の作成など、教育現場での活用を考え、主に資料作成やレポート作成に力を入れました。	演習の授業を中心に、修士論文の経過として理論に芯のある論文にするために、先行研究を深く読み、自分の研究との共通点や相違点を明確にしました。研究発表会が控えていたこともあり、修士論文で自分が何を研究しているかを的確に伝えるため改めて整理をして研究の意義を考える機会となりました。第15回おのみち文学三昧にも登壇する機会をいただき貴重な経験となりました。	修士論文に専念しながらも、並行して教員採用試験に向けての学習にも必死に取り組みました。この期間は教員としての自分にできることを見つめる機会になりましたし、研究内容である関連指導の具体的な実践を考えることができた期間になりました。	9月から11月にかけて中間発表に向けての資料作り、12月から1月にかけては修士論文が佳境に差し掛かっていたので、自分の論がうまく伝わるようにかけているか、先行研究の引用は適切かを吟味し、修士論文を仕上げました。

総合科目

日本文学・言語文化総論

基幹科目

日本古典文学特講	日本古典文学演習	日本近代文学特講	日本近代文学演習
日本語学特講	日本語学演習	漢文学特講	漢文学演習

専門科目

日本古典文学特論Ⅰ	日本古典文学特論Ⅱ	日本近代文学特論	日本語学特論
言語学特論	国語教育学特論	米文学特論	比較文学特論
地域文学特論	文芸創作特論		

関連科目

語学実践特論　英語学特論　哲学・倫理学特論

研究指導（論文指導）

研究指導（論文指導）Ⅰ　研究指導（論文指導）Ⅱ

修了必要単位数

総合科目　2単位　基幹科目　16単位　専門科目及び関連科目　8単位以上
研究指導（論文指導）Ⅰ・研究指導（論文指導）Ⅱ　4単位　合計30単位以上を修得すること。

美術研究科　美術専攻（修士課程）

修了要件

本研究科に2年以上在学し、合計30単位以上の単位を修得し必要な研究指導を受けたうえで、修了作品および副論文を提出し、その審査と試験に合格すること。

学位

修士（美術）

取得できる資格

中学校教諭一種免許状（美術）または高等学校教諭一種免許状（美術）を既に取得している方で、美術研究科で所定の授業科目の単位を修得し、修了要件を満たして修士の学位を授与された方は、中学校教諭専修免許状（美術）、高等学校教諭専修免許状（美術）を取得することができます。

教育課程

● 基礎理論科目
広く芸術に関する幅広い視野と識見を養うため芸術の理論・歴史等を学ぶ
美学（芸術学）特講、美術史特講など

● 専門演習科目
日本画材料技法演習、絵画総合演習、デザイン総合演習

● 専門実習科目

修了必要単位数

基礎理論科目　12単位以上　専門演習科目　2単位以上　専門実習科目　16単位以上
合計30単位以上を修得すること

修了生の声

朝平　敬香　あさひら　ひろか
（絵画研究分野19期生）

《コンコース》 修了制作　181.8×259cm　麻紙、岩絵具、箔、膠

日本画の画材や、制作に対する姿勢をもっと探求したいと思い、大学院へ進学しました。私は学部生活を尾道で送り、そこで岩絵具に初めて触れました。岩絵具の複雑な色合いやマチエールに魅了されたことを覚えています。学部4年間を通して、日本画画材の奥深さに惹かれました。そして、尾道の穏やかな気風や、的確であたたかい指導に恵まれることから、本学への進学を決めました。

修士課程では、学部以上に制作や美術について深く探究できます。表現を模索し、自身の関心を煮詰めた時間が、今日の制作意欲を支えていると思います。また様々な交流や、同期と過ごした日々は、私の見方や考え方を育んでくれました。

就職と悩んだ時期もありましたが、2年間を通して得たものから、大学院に進学して良かったと感じています。卒業後は、本学附属の美術館に勤めており、仕事を通じて様々な作品や作家と出会う環境にいます。この環境に刺激を受けながら、仕事と制作活動を両立できるよう頑張りたいです。

絵画研究分野

日本画

日本画では、古典作品の表現、技法および材料の理解と造形感覚を修得させ、各自の個性的な創作力の育成を図る。教育課程の編成に当たっては各人の個性的な創作力の育成を主とした課程と、創作力の育成並びに古典模写を通して技法や材料の研究を深める課程の二本立てとし、指導の多角化を図る。

藤本澪　《水辺》　修了制作　181.8×227.3cm
麻紙、岩絵具、膠

栩平詩乃　古典模写《紅白芙蓉図》
25.2×25.5cm　絹、岩絵具、膠

油画

油画では、各自の研究テーマに基づく制作実践を通して、高度な思考力・表現力を修得し、専門性を深める。学生・教員との対話や、外部講師による講義・演習、発表経験を通じて、自らの表現を磨き、他者に伝える力を養う。こうした学びを重ね、専門家として主体的に創作活動を展開する力を培う。

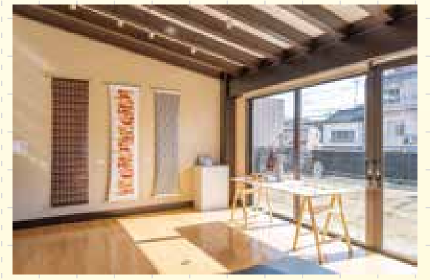
岡田真理子　《雑記》　修了制作　メディウム、鏡、アクリル、サイズ可変

田實夕夏　《バンクエット・エコー》　修了制作
ミクストメディア、サイズ可変

デザイン研究分野

デザインの概念は多様な価値観の現代において、色と形で造形されるモノだけではなく、自然との共生など社会全体の構造にまで拡がりを見せている。各自の専門領域の探求とともに、広い視野と柔軟な観察力をもって多岐にわたるデザインの領域を理解できるように、6人の専門領域の指導教員から多様な価値観を学び、さらに外部講師による講義、演習を体験し、各自の研究を多角的な視点から考察し、研究する。

呉騰越　《家の俯瞰》　修了制作　イラストレーション



海田ひまり　《a, With b, Layer c, Trick》
修了制作 パターンデザイン